

NTT Communications Corporation

# CSR報告書 2016



社会へ、世界へ、価値を創造する

## 目次



ごあいさつ 02



事業とサステナビリティ 03



社会への貢献 07



地球環境への貢献 09



人材の尊重 11



経営統治の継続的強化 13



CSR活動の成果 15

報告媒体について  
会社概要

16

## 新・事業ビジョン

## “Transform. Transcend.”

私たちは、時代を先駆ける技術やサービスを提供することで  
お客さまのビジネスや社会、そして市場に飛躍的進化 (Transform) と  
ダイナミックな変革 (Transform) をもたらし、  
期待や想像を超える (Transcend) 新たな価値や、  
すべての垣根を越えて (Transcend) つながる世界を創造していきます。

## CSR報告書 2016の使い方



## 表紙について

私たちは、事業ビジョン“Transform. Transcend.”を掲げ、日々ICT技術の革新(イノベーション)を実現し、ビジネスや日常生活へと新たな価値を創造しています。ICTがグローバルな社会インフラとして重みを増す中、私たちが担うべき責任は多岐にわたります。目指す未来像を明確に意識し、持続可能な社会の実現へと貢献し続ける。そのような思いを表紙にしました。



NTTコミュニケーションズ株式会社  
代表取締役社長

庄司 哲也

## ごあいさつ

# 社会的課題の解決と持続的発展のため、 グローバルな視点で貢献してまいります。

私たちNTTコミュニケーションズグループは、時代を先駆ける技術やサービスの提供を通じて、お客さまのビジネスや社会、市場に飛躍的進化(Transform)とダイナミックな変革(Transform)をもたらし、期待や想像を超える(Transcend)新たな価値や、すべての垣根を超えて(Transcend)つながる世界を創造していくことを目指しています。

経営の革新や成長においてICTの重要性が高まるなか、最近では、ハイブリット・マルチクラウド化が進展し企業のICT環境は更なる複雑化が想定されます。また、世界中で未知のウィルスが増加し、サイバーセキュリティへの対応は、企業経営上の大きな課題となっています。

私たちNTTコミュニケーションズグループは、グローバルレベルで統一したICT基盤や、先進的なIoT・AI・SDxの技術、NTTグループで結集した

セキュリティの知見を活用し、お客さまへご提供するサービスやソリューションの信頼性や安全性の向上に加え、お客さまの事業の変革やビジネスの創出にきめ細やかに対応し、お客さまの経営改革(デジタル・トランスフォーメーション)に貢献してまいりたいと考えております。

今後も常に市場の動向とお客さまのニーズを素早く的確に把握し、革新的で信頼性の高いサービスを提供しつづけられるように取り組んでいくと共に、私たち自身が社会の一員として責任ある行動に努めて参ります。また、これらの取り組みと併せて、全世界のお客さまをはじめ、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切にし、“Global ICT Partner”としてふさわしいCSR活動に取り組み、グローバル規模の社会課題の解決および持続的発展への貢献に、引き続き精進してまいります。

## 事業概要

## グローバルなICTサービスをワンストップで提供しています。

業界最高レベルの高品質な設備と全世界統一のオペレーションにより、コロケーションサービス、ホスティングサービス、ネットワークサービス、セキュリティサービスなどをグローバルシームレスに提供し、全世界のお客さまから選ばれるパートナーを目指します。

We



## データセンター

災害に強く、先進の省エネ性能を備えた高品質で環境負荷を低減した次世代グローバルデータセンターサービスを提供します。

ネットワーク  
監視

海外現地ヘルプサービスと組み合わせ、万が一の回線障害時でもお客さまのビジネスへの影響を最小化する常時監視を実施しています。

トータル  
オペレーション

他社サービスも含めたICT環境全体に対して、監視・トラブル復旧・原因究明・対策検討・変更管理まで国際標準であるITIL\*に準拠したトータルオペレーションを提供します。

\* Information Technology Infrastructure Libraryの略。ICTサービスの運用・管理におけるベストプラクティス、ノウハウをまとめた書籍群として、業界標準として認知されている。

海外拠点  
ソリューション

海外拠点のネットワークからLAN、サーバーの設計・構築、アプリケーションまで、いかなる脅威にも対応する安心・安全なグローバルICT環境をお客さまに提供します。

セキュリティ  
コンサルティング

設計から導入・運用まで、経験豊富なセキュリティコンサルタント・エンジニアによる専門性の高いセキュリティサービスを提供します。

ICTアウト  
ソーシング

お客さまの企業規模・ニーズに合わせて、高品質・安心・安全・簡単に利用いただけるICTシステムを構築するだけでなく、その運用管理・セキュリティ対策など、お客さまのICT要員になり代わり対応します。

## 加速するグローバル戦略

## Global Cloud Vision 2016

シームレスICTソリューションでお客さまの経営改革に貢献

グローバルクラウドビジョンとは  
シームレスICTソリューションによるICT環境の最適化を通じ  
お客さまの経営改革(Digital Transformation)に  
貢献するというビジョンです

Global Cloud Vision 2016の詳細

<http://www.ntt.com/about-us/we-are-innovative/ict.html>

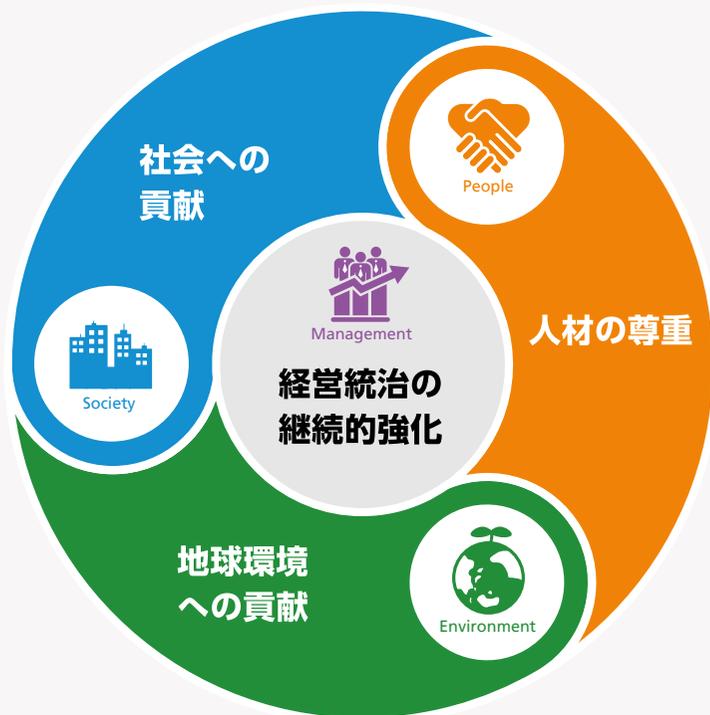
## 新たなCSR基本方針

# 「新たな約束」を胸に、グループ横断で グローバルなCSR活動を続けます。

2016年6月、NTTコミュニケーションズグループは新たなCSR基本方針を定めました。これをグループ共通の「社会への約束」として、徹底を図ります。

## CSR基本方針

私たちNTTコミュニケーションズグループは、現在と未来を「つなぐ」パートナーとして、ICTを通じて、グローバル規模で社会の新たな価値創造や社会的課題解決に取り組み、安心して快適・豊かな社会の実現に貢献します。



### 社会への貢献

私たちは、社会の持続的発展のため、安定的で信頼性の高いサービスを提供するとともに革新的ICTを開発・提供することで、国内外のさまざまな社会的課題の解決に貢献します。

私たちは、社会を支え生活を守る重要なインフラを提供する企業グループとして、災害に強く、サイバーセキュリティ対策を強化した、安心なコミュニケーション環境を提供します。



### 地球環境への貢献

私たちは、グループ事業全体にわたって環境負荷を低減し、ICTの利活用による社会全体の環境負荷低減に取り組み、さまざまな地球規模での環境問題の解決に努めます。



### 人材の尊重

私たちは、社員をはじめステークホルダーのみなさまの多様性を尊重し、ひとり一人が活躍できる環境の整備に努めます。また、自らが変革し、自らの限界を超えて成長することにより、豊かな社会作りに貢献します。



### 経営統治の継続的強化

私たちは、ステークホルダーのみなさまとのコミュニケーションを大切にするとともに、高い倫理観と人権意識を持って事業に取り組み、社会の持続的発展に貢献します。

## NTTコミュニケーションズグループのマテリアリティ

# 社会の期待を踏まえ、多面的に 日々、挑戦し続けます。

経済・社会情勢が変化する中、社会の期待も変化を続け、私たちのCSR活動の中期的な目標も、常に進化が求められます。

私たちは2015年から2016年にかけて、外部有識者も交え重要課題(マテリアリティ)の再検証を実施しました。これをうけ、CSR基本方針も踏まえた重点領域と活動項目を刷新し、活動を加速します。

## CSR重点領域

## 社会の課題・注目点

## 重点活動項目



Society

## 社会への貢献

- 企業活動のグローバル化
- IoTの進化とICTの社会インフラ化
- サプライチェーンを通じたCSRへの期待
- 企業市民活動の浸透

- ネットワーク社会を支えるイノベーション
- 重要インフラとして高い安定性と信頼性の確保
- 顧客のネットワークセキュリティの強靱化
- 顧客満足継続的改善
- サプライヤーとの協働
- 地域貢献、コミュニティ開発



Environment

## 地球環境への貢献

- 地球温暖化
- 資源の希少化
- 生物多様性の減少

- 低炭素社会の実現
- 循環型社会の推進
- 生物多様性の保全



People

## 人材の尊重

- 少子高齢化社会の加速
- 多様性を活かす社会づくり
- 社員と企業、共栄関係の強化

- 人材の育成
- 多様性の尊重と機会均等
- 社員の健康維持・増進



Management

## 経営統治の継続的強化

- サイバー犯罪の深刻化
- 企業統治への関心の高まり
- 法令遵守の徹底の必要性
- 人権意識の高まり

- コンプライアンス
- 人権の尊重
- リスク管理
- 情報セキュリティ

## ステークホルダーとのエンゲージメント

# 一人ひとりが皆さまの声を重んじ、 より良い社会を実現します。

私たちは、ステークホルダーとの対話を日々の事業に活かすことが、  
全員参加のCSRの基礎であると考えています。  
多様な対話機会を柔軟に展開し、サステナブルな社会へと貢献します。

### ステークホルダーへの姿勢

### コミュニケーションの主な窓口

#### お客さまに対して

1. お客さま第一の視点で、お客さまにとって本当に価値あるサービスを提供します
2. NTTコミュニケーションズグループの社員としての責任とプライドをもって、スピーディ・柔軟・誠実に対応します
3. お客さまとの持続的な信頼関係を築きます

- ・Voice of Customer (VOC) 調査
- ・NTT Communications Forum

#### ビジネスパートナーに対して

1. お客さまに提供する価値を最大化するために、パートナーとより良い協力関係を築きます

- ・Arcstar Carrier Forum (ACF)
- ・カスタマーカウンスル
- ・パートナーサミット
- ・サプライヤーとの日常的なコミュニケーション

#### 社会に対して

1. サービスの提供を通じて、ICT社会の健全な発展に貢献します
2. 社会とのつながりを大事にし、地球環境保護に貢献します
3. 世界各国・地域の文化・慣習を理解し、尊重します

- ・ステークホルダーダイアログ
- ・各種社会貢献活動
- ・お問合せ窓口を通じてご説明
- ・コンテンツ、サービスを通じた社会への情報発信

#### 競合会社に対して

1. ルールを守り、フェアな競争を行います

- ・業界団体での意見交換
- ・外部機関、産官学プロジェクトなどでの連携

#### 社員・職場環境に対して

1. 個性と多様性を認め、お互いの人権を守ります
2. お互いを信頼・尊重し、自己実現を図るのにふさわしい環境をつくります
3. ICT企業として、セキュリティ保護に全力を尽くします

- ・社長との対話会
- ・カイゼンサポートライン
- ・社内イントラを通じた経営陣との意見交換

#### 株主に対して

1. 事業活動に関する情報を公正、正確、タイムリーに開示します
2. 企業として絶え間ない成長を続け、株主の利益を高めるように努めていきます

- ・NTTグループ経営陣会合
- ・NTTグループCSR担当者連絡会

## 社会への貢献

世界中の、より多くの人  
がICTで「つながる」日常生活を

ICT 技術の進化、  
特にモノのインターネット化 (IoT) が加速しています。  
それを確実にサービス化し、  
世界中の人々が気軽に、  
ICT の恩恵を享受できる社会の実現に、  
私たちは挑戦しています。

## 私たちが目指すもの

## ICTが導く、全ての人々がつながった社会

- ・ 時間や距離、言語などの制約を意識しない社会
- ・ 常に安全で快適なネットワークが保たれる社会



Society

ICT社会の充実  
キーワードはIoT

全ての電子機器が連携しあう社会へ、  
加速し続ける世界

平成27年版情報通信白書によると、  
インターネットにつながるモノの数 (IoT)  
は、2011年の104億個から2020年  
には530億個へと急増。10年間で5倍  
を超える伸びを見せると予想しています。  
オフィスや家庭、公共機関などの要所  
に配置された電子機器や家電が互いに  
連携し、クラウドさらにはAI (人工知能)  
技術も活用することで、より快適で効  
率的な社会インフラを実現する時代が、  
近い将来、到来すると予想されています。

インターネットにつながるモノの数 (IoT) の推移・予想



平成27年版 情報通信白書より



## 社会への貢献

日本で、そして世界で。ICTの力を活かす。  
より快適・安心な社会の実現へと、私たちは革新的に取り組みます。



### 私たちのアプローチ

日々、新しいICT技術が生まれ、経済活動のパラダイムが変わり続けています。私たちNTTコミュニケーションズグループは、グローバルなICTリーディングカンパニーとして、高信頼で高品質な通信インフラを実現することはもちろん、社会やお客さまに最先端の技術をご提供し社会課題の解決に資することを重視し、日々の業務に臨んでいます。

また、ICTを活かした社会貢献活動の在り方も常に模索しています。これらを取り組みの柱とした多面的な活動を展開することで、社会のさまざまなコミュニティと共栄しつつ、より良い未来に寄与していきます。

### 取り組みの柱

- 1 ユビキタスネットワークインフラの整備
- 2 重要インフラとして高い安定性と信頼性の確保
- 3 社会貢献活動

### 1 事例

#### 先進技術を駆使した 新たなIoTソリューションの拡充

NTTコミュニケーションズでは、2015年8月にIoT推進室を設置し、IoTを活用したサービスの開発を加速しています。製造業の生産プロセス見える化やデバイスの稼働状況監視、車両運行管理といったさまざまなIoTを手早く利用いただける「IoT Platformサービス」を多くのお客さまに提供しており、今後も順次ラインナップを拡充していきます。例えば「VehicleManager」は、営業車両の運行管理を改善するものです。通信機能を内蔵した車載器とクラウド技術を組み合わせることで、運行日報や運転傾向分析などをWeb上で閲覧・管理でき、安全運転の確保ひいてはエコドライブの徹底などに貢献します。

この他にも、自社のオフィスビルをIoTの仕組みでデジタル化し、ビル内を巡回せずに機器の点検作業を自動化するなど、自らも変革の取り組みをすることで社会課題の解決に資する技術・ノウハウを蓄積しています。



NTTコミュニケーションズ IoTプラットフォーム  
<http://www.ntt.com/business/services/iot/iot.html>

私たちが目指すもの

先進のIoTソリューションを、  
より多くの皆さまに

### 2 事例

#### Arcstarネットワークサービスの インド国内への提供開始

インドでは、高品質ネットワークサービスへの期待が高まっています。NTTコムインディアは、国土の広い同国をカバーするため、複数キャリアにまたがっている運用をワンストップで提供することが不可欠と考え、国内通信ライセンス-NLD (National Long Distance) を取得し、Arcstarインド国内ネットワークサービスを開発。2015年12月に提供を開始しました。

インドでは政府当局から通信事業者への要求条件が多岐にわたり、通信事業者がネットワーク網の提供からデータセンターの運用、セキュリティの監視といったトータルなソリューションを提供する上で、ハードルとなってきました。今回、NTTコミュニケーションズのノウハウとグループ各社のグローバルな経営資源を集約することでトータルICTを実現。同サービスを通じ、インド国内で事業を行う企業の皆さまへ、高品質なネットワークサービスの提供が可能となりました。



VPNネットワークサービス Arcstar Universal One  
<http://www.ntt.com/business/services/network/vpn/vpn.html>

私たちが目指すもの

高品質なネットワークサービスを、  
世界各地に

## 地球環境への貢献

# 豊かな地球が育まれる サステナブルでグリーンな未来を

気温の上昇や異常気象の頻発、資源の枯渇など、環境問題は世界共通の関心事です。ICT の力で、より地球環境と調和した豊かな未来の実現を、私たちは目指します。

## 私たちが目指すもの

### 豊かな地球を守り継ぐ、自然と調和した社会

- ・低炭素で低負荷、資源循環の仕組みが徹底された社会
- ・生物多様性を尊重し、豊かな自然資源を保持した社会



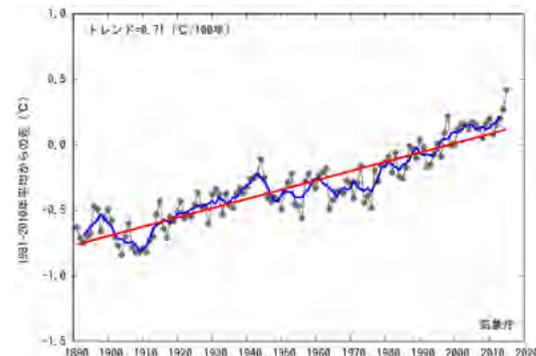
Environment

## 歯止めがかからない、地球温暖化

### 低炭素化、脱炭素化を加速する 社会の仕組みづくりが急務

気象庁の計測によると、世界の年平均気温は、1900年代以降、一貫して上昇傾向にあり、現在の地球は過去1400年で最も暖かくなっています。現在のままでは、将来、地球の気温はさらに上昇すると予想され、水や食料の枯渇や異常気象の頻発、健康問題などで人類社会に悪影響を及ぼすリスクが高まっています。将来の社会・環境・経済的影響を緩和・回避するため、社会の低炭素化・脱炭素化に向けた取り組みが急がれます。

世界の年平均気温





## 地球環境への貢献

豊かで多様性に富む地球は、未来への財産。  
私たちはグローバル企業の使命を胸に、環境保護を推進します。



### 私たちのアプローチ

世界各地の異常気象や地球温暖化の対策として、CO<sub>2</sub> 排出量削減の必要性が唱えられています。しかし、十分な成果を挙げているとはいえません。さらに踏み込んだ対応が急務となる現在、私たちNTTコミュニケーションズグループは、ICT 機器を活用したサービスを提供する企業グループとして、その低炭素化に積極的に臨んでいます。

これに加え、循環型社会の推進、生物多様性の保全といった、「次の世代に豊かな地球環境を託す」ための多面的な取り組みを積極的に展開することで、グローバルなICTリーディングカンパニーとしての責任を果たしていきます。

### 取り組みの柱

- 1 低炭素社会の実現
- 2 循環型社会の推進
- 3 生物多様性の保全

### 1 事例

#### 事業と連動した サンゴの保護活動

NTTぷららは、メディアとしての強みを活かし、600万会員の皆さまを巻き込んで海の生態系に重要な役割を持つサンゴの保護活動に取り組んでいます。

具体的には、大人向けオンラインコミュニティサービス「部活DO!」の会員の方々にサンゴ移植ツアーを提供し、社員と一緒にサンゴの移植体験を行いました。また、サンゴの現状や保護活動に関する4K映像コンテンツを制作・配信し、サンゴの保護活動について考える機会をご提供するとともに、視聴いただいた売上の一部をサンゴの保護活動に寄付する取り組みを2016年1月から行うなど「グリーンICTビジョン2020」の重点領域である「生物多様性の保全」の推進を図りました。

これからもNTTぷららは、事業と連動した楽しい企画を提供し、会員の皆さまとともに環境保護活動を進めてまいります。



ひかりTV4K「沖縄サンゴ再生～『楽しい』が描くミライ～」  
<http://www.hikaritv.net/sp/okinawa/>



NTTぷらら 部活DO!「想いをカタチに。地域創生部」  
<https://bukatsu.hikaritv.net/#/discover/14>

私たちが目指すもの

事業の特性を活かした、  
環境保護への価値創造

### 2 事例

#### 国内・海外で推進する クリーンエネルギーの活用

私たちは、グローバルなICT企業グループの責任として、クリーンエネルギーの活用を各地で推進しています。CO<sub>2</sub> 排出量の抑制ひいては低炭素社会の実現に向け、企業には、クリーンエネルギーの採用の積極化が期待されていますが、その実践は各地の社会や気候的な特性に即し実施する必要があります。このような視点にたち、東京都内やシンガポール、マレーシアのデータセンターに太陽光発電パネルを設置、香港のデータセンターでは太陽熱温水システム、インドのデータセンター、タイのオフィスビルでは風力発電システムを導入するなど、再生可能エネルギーの採用を多彩に進めています。

発電した電力は共有部の照明などに活用しており、2015年度の国内における発電量はCO<sub>2</sub> 換算すると128,405kg-CO<sub>2</sub> となり、9,171本もの杉の木が一年間に吸収する量と同等になりました。



NTTコミュニケーションズの環境保護活動  
<http://www.ntt.com/about-us/csr/eco.html>

私たちが目指すもの

世界各地に根差した、  
環境保護への責任遂行

## 人材の尊重

# 全ての人が尊重され自分らしく活躍できるビジネスを

先進国での少子高齢化や、新興国での人口爆発など、労働力の多様化は、文字通り多様な課題を内包し加速しています。性別や国籍、身体的特徴といった多様性が尊重され、活かされるビジネスを、私たちは推進します。

私たちが目指すもの

### 全ての人が、認めあい、高めあう社会

- ・個性と属性、信条の多様さを尊重する社会
- ・人材の能力が十二分に発揮できる社会



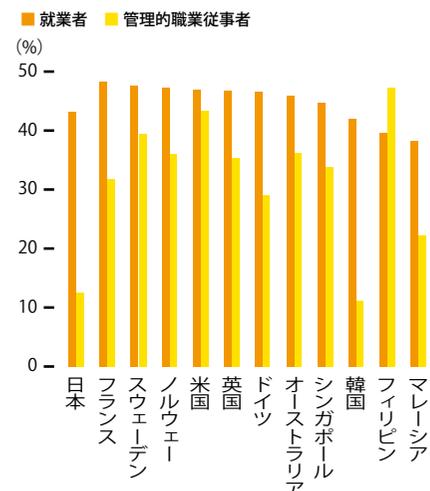
## 女性のさらなる活躍に期待がかかる日本

先進諸国に比べ、いまだ低い女性比率  
官民あげて進む、活躍促進への基盤づくり

多様性尊重の主要なテーマとして、女性の活躍の促進は、各国で長らく取り組まれてきました。その成果を見ると、残念ながら、日本は遅れ気味です。平成28年版、男女共同参画白書によると、就業者全体と管理職のいずれにおいても、女性の割合が日本は先進諸国の中で最も低い数値に留まっています。このような状況をうけ、日本では2016年に「女性活躍推進法」\*が施行されるなど、官民をあげて取り組みが推進されています。

\*正式名称：「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」

就業者および管理的職業従事者に占める女性の割合



平成28年版 男女共同参画白書より



## 人材の尊重

多様な社員が、1つのチームとして。

私たちは、互いに尊重しあい、高めあう環境を、大切にしています。



### 私たちのアプローチ

社員は企業の業務を担う存在であると同時に、日々、企業と接する「最も近い場所にいるステークホルダー」でもあります。私たちNTTコミュニケーションズグループは、社員とのサステナブルな共栄関係を構築するため、グローバル化する事業を見据えた先進的な人材育成施策を行っています。

近年、多様性を活かす経営に世界的な関心が集まる中、社員の健康維持はもちろん、多様性を競争力へと変えるための取り組みを重視し、女性の積極活用や働き方改革の促進、グローバルな人事交流など多面的な施策に挑戦しています。

### 取り組みの柱

- 1 人材の育成
- 2 多様な人々が活躍する職場づくり
- 3 社員の健康維持・増進

### 1 事例

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」最上位認定を取得

NTTコミュニケーションズは2016年5月、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」に基づく厚生労働大臣認定のうち、最上位の認定を取得しました。これは、女性活躍推進法に基づく行動計画の策定・届出を行なった企業のうち、その取り組み状況が優良な企業を認定するもので、認定された企業は、認定マークである「えるぼし」を利用することができます。

これまでNTTコミュニケーションズでは、多様な社員が活躍できる企業風土の実現に向け、ワークスタイルやライフスタイルに応じた働き方が可能になるよう、育児・介護をはじめとした各種支援制度を整備してきたほか、eワークなどICTを活用した働き方改革を行ってきました。その結果、女性に関する、採用／継続就業／管理者比率など、全ての認定項目で評価され、今回の認定を取得しました。



厚生労働省「えるぼし」企業46社を認定  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000123991.html>

私たちが目指すもの

女性をはじめ多様な社員が活躍できる企業風土の実現

### 2 事例

経済産業省が選定する「新・ダイバーシティ経営企業100選」を受賞

NTTコミュニケーションズは2016年3月、経済産業省が主催する「新・ダイバーシティ経営企業100選」を受賞しました。「ダイバーシティ経営企業100選」とは、ダイバーシティ経営によって企業価値向上を果たした企業を選定する経済産業大臣表彰であり、平成27年度から新たに「新・ダイバーシティ経営企業100選」として開始されています。

2008年のダイバーシティ推進室設置以来、性別、年齢、出身地、国籍、宗教、障がいの有無などを問わず多様な社員が活躍できる企業風土づくりを進めてきました。加えて近年、事業のグローバル化が進む中、外国籍社員の積極採用や海外現地法人などへの社員派遣プログラムの推進の他、全世界でのサービス・オペレーションの標準化、全社ワークフロー管理システムの導入などにも積極的に取り組んでいます。これらグローバルでの多面的な取り組みが評価され、受賞に至りました。



経済産業省 新・ダイバーシティ経営企業100選  
<http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/diversity/kigyoy100sen/>

私たちが目指すもの

グローバルなICTリーディングカンパニーとしての多様性尊重

## 経営統治の継続的強化

# 常に信頼される 使命感を持った私たちを

経済のボーダレス化、ICT 社会の浸透をうけ、私たちに期待される「責任」は、より広範に、かつ重みを増しています。私たちは、ICT インフラを担う企業グループとして、法令遵守はもちろん、信頼に応える経営基盤の強化を続けます。

私たちが目指すもの

ステークホルダーと企業が信頼しあい、共創する社会

- ・ 遵法かつ倫理的な企業行動が徹底された社会
- ・ ステークホルダーとの対話が日々、企業活動に活かされる社会



Management

## セキュリティ強化は ICT企業不断の責務

日々変化するセキュリティ脅威を見据え、的確な予防・対処体制を構築し続ける

ICT技術の高度化と、社会インフラとしての重要性の上昇に伴い、セキュリティの隙を突くサイバー犯罪の深刻度も増えています。情報処理推進機構が継続的に公表している「10大脅威」の内容にも、その様子が色濃く反映されています。

私たちICTサービス企業には、顧客や社会の重要な情報を扱う企業として、日々進化する情報セキュリティの徹底を経営の基盤的責務に位置づけ、予防・対処体制の構築に日々まい進することが求められています。

情報セキュリティ10大脅威(2015年)

順位	タイトル
1	インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用
2	内部不正による情報漏えい
3	標的型攻撃による諜報活動
4	ウェブサービスへの不正ログイン
5	ウェブサービスからの顧客情報の窃取
6	ハッカー集団によるサイバーテロ
7	ウェブサイトの改ざん
8	インターネット基盤技術を悪用した攻撃
9	脆弱性公表に伴う攻撃
10	悪意のあるスマートフォンアプリ



## 経営統治の継続的強化

グローバルICT企業として、責任を果たし続ける。  
私たちは、効率的で公正、強靱な経営基盤を構築します。



### 私たちのアプローチ

社会インフラとして浸透したICTサービスをグローバルに提供し続ける上で、効率的でスピード感ある経営組織、公正な企業風土、事故や災害など「万一の時」にもしなやかに対応できる危機管理など、備えるべき経営基盤の要件は多岐にわたります。私たちNTTコミュニケーションズグループは、持続可能な社会の発展に貢献し続けるため、効率的なガバナンスと確実なコンプライアンスをグループ全体で徹底しています。

特に近年は、情報セキュリティに関連した犯罪が深刻な社会問題化していることを受け、その抑止・対応策に意欲的に取り組んでいます。

### 取り組みの柱

- 1 ガバナンスの効率化
- 2 コンプライアンスの徹底
- 3 情報セキュリティの確保

### 1 事例

情報セキュリティ組織「NTT Com-SIRT」を核とした、脅威に備える仕組みづくり

近年、サイバー攻撃によるサーバーダウンや不正侵入による情報漏えいなど、情報セキュリティに関する犯罪が増加しています。日々、未知の脅威が発見され、被害も深刻化する中、「セキュリティインシデント(セキュリティ上の問題となる事象)」に備え、有事には核となり対応する専門チームであるCSIRT\*を設置する企業が増加しています。

NTTコミュニケーションズでは、お客さまの情報やネットワークの運用を委ねられる企業として、情報セキュリティ管理を担う新組織「情報セキュリティ部」を2015年10月に設置し、CSIRTチーム「NTT Com-SIRT」の運用を開始しています。同チームは、NTTコミュニケーションズグループ全般の関連システム・ネットワークなどのインシデント対応/統制を行うとともに、抜本的な対策を含む再発防止策を推進することで、セキュリティマネジメントの強化を図っています。

\* Computer Security Incident Response Team

私たちが目指すもの

明日を見据えた強固な  
セキュリティを、確保する

### 2 事例

官民が連携するサイバー攻撃複合防御モデル・実践演習への参加

増加するサイバー攻撃に対応するため、2013年度より総務省が主管する「サイバー攻撃複合防御モデル・実践演習の実証実験」事業に参画しています。同事業は、新たなサイバー攻撃に対応可能な環境を実現するため、攻撃の「解析」および「防御モデルの検討」を行い、官民参加型のサイバー攻撃に対する「実践的な防御演習」を行うものです。

NTTコミュニケーションズは、特にサイバー攻撃に対する検知、対策(予防対策・事後対策)およびインシデントレスポンスから構成される「防御モデルの検討」を担い、得られた知見などを実践演習「CYDER\*」へ展開してきました。

これらの実施を通じ、巧妙化・複合化するサイバー攻撃に対する早期発見・検知ならびに対処といったインシデントレスポンス能力の向上を図ると同時に、社会を支える情報インフラの防御態勢の強化および緊密な官民連携への貢献を目指しています。

\* Cyber Defense Exercise with Recurrence

私たちが目指すもの

社会の情報インフラの  
安全を、守り続ける



## CSR活動の成果

重点領域に即した2015年度の主な活動をご紹介します。より詳細な内容は、**詳細版報告書 2016**をご覧ください。

重点領域	重点活動項目	施策名	2015年度 目標	2015年度 取り組み結果		
				具体的な取り組み状況	目標達成に向けた自己評価	
CSRマネジメント	情報セキュリティの確保	プライバシーマークの認証継続	個人情報保護に関わるPDCAサイクル(規定見直し、啓発、監査など)を継続実施	・マイナンバー制度導入に伴う規程の見直し ・プライバシーポリシーの改定	★★★★	
		研修実施による継続的意識啓発	層別セキュリティ研修の実施により意識向上を図り、インシデントの発生を抑制	・全社セキュリティ研修18,629名 ・セキュアプログラミング研修40名 ・実施責任者、担当者研修127名	★★★★	
		プロセス、システム上の管理強化	社内の新規・更改システムに対して、脆弱性診断を実施	149システムに対して、脆弱性診断を実施	★★★★	
		セキュリティ調査の実施	セキュリティ調査対象会社への調査実施	全調査対象会社に対して調査を実施	★★★★	
社会への貢献	重要インフラとして 高い安定性と信頼性の確保	安心・安全なホスティングサービスの提供	安心・安全・シームレスにつなぐ環境を実現するため、Bizホスティングを中心とした基盤サービスを提供。サービスラインナップ拡充と利便性向上を模索	Telecom Asia Awards 2015で3度目の「Best Cloud-Based Service」を受賞。米ガートナー社のアジア/パシフィック地域におけるクラウド事業者評価レポートで「リーダー」評価を獲得	★★★★	
		安心・安全なデータセンターサービスの提供	全世界130以上の拠点でデータセンターを提供。国内外共通のグローバル統一基準による品質管理を実施するとともに、災害に強いデータセンターの運用を推進	2015 Frost & Sullivan Asia Pacific ICT Awardsで「Data Center Service Provider of the Year」を2年連続で受賞するなど、国内外で高い評価を獲得	★★★★	
		災害に強いネットワークづくり	最新のハザード更新、公表に合せ、サービスの継続を確保するため、及び迅速な復旧が可能な基盤設備の整備を継続	大規模(広域)、長時間停電のサービス影響リスク低減を目的に、移動電源車を追加配備	★★★★	
		24時間、365日のネットワーク監視	お客さま向けサービスの長時間故障件数の削減 ・国内NW(3H超):122件/年 ・海外NW(4H超):400件/年 ・その他(CL,A&C,ボイスなど1H超):71件	2015年度長時間故障件数(4月~3月実績) ・国内NW:117件/年 ・海外NW:520件/年 ・その他(CL,A&C,ボイスなど1H超):52件/年	★★★☆	
人材の尊重	多様性の尊重と 機会均等に向けた取り組み	育児/介護と仕事の両立支援の拡充	男女ともに仕事と育児/介護などを両立しながらやりがいをもって働き、キャリア形成を継続できるように、支援活動を実施	・育児復職社員向けセミナーやライブイベント(産休前)相談会を実施 ・短時間勤務者でも参加しやすいスキルアップ研修メニューの拡充	★★★★	
		障がい者雇用率の向上	グループ各社での法定雇用率2.0%の維持	NTTコミュニケーションズ単体2.09%、グループ全体で2.01%(3月1日現在)	★★★★	
		グローバル規模での人材交流の拡大	海外への派遣・海外からの受入とともに、プログラム期間中のフォローアップの充実により、効果的な人材交流に注力	NTTコミュニケーションズから海外への派遣は計50名を派遣。海外現地法人からは24名の受け入れを実施	★★★☆	
		女性管理者比率の向上	女性管理者によるメンタリング活動およびセミナー活動を継続実施し、引き続き社員のキャリア志向の向上を促進	OpenCafeに85名の女性社員が参加。新入社員向け女性管理者対話会に25名が参加。次世代女性リーダープログラムに36名の女性社員が参加	★★★☆	
地球環境保護	温暖化防止	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	・NTTコミュニケーションズグループにおいて、各種省エネ施策による通信・オフィスのCO <sub>2</sub> 排出量を削減 ・27.8万t-CO <sub>2</sub> 以下 (排出係数0.33kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	26.6万t-CO <sub>2</sub>	★★★★	
		廃棄物削減	リサイクル率の向上	NTTコミュニケーションズグループにおいて、各種施策により産業廃棄物(撤去通信設備・建設廃棄物、オフィス廃棄物)のリサイクル率を向上 撤去通信設備:99%、建設廃棄物:特定99%とその他75%、オフィス廃棄物:88%	撤去通信設備:99.9% 建設廃棄物:特定100%、その他71.5% オフィス廃棄物:89%	★★★☆
			紙資源削減	紙使用量の削減	NTTコミュニケーションズグループにおいて、複合機の導入やタブレット会議の推進により事務用紙を低減。「ペーパーレス会議」「会議1/8」推進による紙使用量の削減に取り組む	6,565枚/年・人

## 報告媒体について

## CSRサイト

<http://www.ntt.com/about-us/csr.html>

CSR活動の最新情報を随時更新。NTTコミュニケーションズグループ各社のCSR活動をご覧ください。

## CSR報告書サイト

<http://www.ntt.com/about-us/csr/report.html>

「NTTコミュニケーションズグループCSR報告書2016」の内容を網羅的に掲載しています。「ハイライト版」と「詳細版」の2部構成としつつ、媒体ごとに想定読者を意識し効果的な情報提供を目指しています。なお、2012年版よりICT企業ならではのCSR報告として、報告の電子媒体化を実施しました。

「ハイライト版」では、NTTコミュニケーションズグループのCSR活動の中から、より重要度が高い取り組みを一般の方でもわかりやすくご紹介できるよう紹介しています。

「詳細版」では、NTTコミュニケーションズグループのCSR活動事例や詳細データを網羅的に掲載し、多くの具体的な事例をご覧ください。内容としています。

## ●対象期間

2015年度: 2015年4月1日～2016年3月31日

(報告の一部に、同期間の前後の活動と取り組み内容も含め掲載しています。)

## ●発行情報

発行日: 2016年10月

(前回発行:2015年11月、次回発行:2017年10月予定)

## 会社概要

## 会社名

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社  
NTT Communications Corporation

## 本社所在地

〒100-8019  
東京都千代田区内幸町1丁目1番6号

## 営業開始日

1999年7月1日

## 資本金

2,117億円

## 従業員数

6,450人(2016年3月現在)

## 事業内容

電気通信事業など

## 世界で評価されている実績

- Telecom Asia Awards 2016  
において4年連続で「Best Cloud-Based Service」を受賞
- Asia Communication Awards  
2016においてOperator of the Yearを受賞
- 英国Ocean82社の第20回「国際データ通信サービスのグローバル顧客満足度調査」において、グローバル通信事業者として5年連続で総合顧客満足度1位を獲得



World-Class ロゴ

営業収益  
(億円)営業利益  
(億円)従業員数  
(人)